

第7回四極会寄附講義

「社会人の^{きょうじ}矜持」

第7回は5月29日（水）に西依章朗氏（大19回）によって実施された。西依氏は出光興産株式会社で副社長まで務められた。退職後はボランティアの千葉県市川市国際交流協会日本語教室委員長として約200人の日本語教師を束ねている。

講義で使われたレジュメがわかりやすかったのでそのまま紹介する。

○メインテーマ…自分をしっかり持ちましょう

- 1 表面だけでなく、一段深く考える
 - ・何故そんな法律や規則になっているのかを考えること
 - ・上司や先輩が言うことも、自分ならこうする、と考える習慣が重要
 - ・考える時の一つのヒントは、一段抽象化してみる、一段階戻る
- 2 何事にも X 軸と Y 軸がある
 - ・ゼロか 100 なんてことはあり得ない必ず二つ以上の軸が立体的に存在
 - ・人は強さと優しさとどちらが大切か
会社は収益力と理念とどちらが大事か
商品には品質と安さとどちらが大事か
工場では生産性と安全とどちらが重要か
- 3 人間の能力
 - ・記憶力・知識（Z 軸）
 - ・大切なのは頭の構造（Y 軸）
 - ・もっと大事なのが、心理状態（X 軸）
仕事のストレスは仕事でしか解消できない…常に前向きな人は少ない
後ろ向きの自分を少しでも前向きにしていって自分でありたい
（上記に加えて、前向きにしてくれる良き友人に勝る宝はない）
- 4 人間関係には縦横斜めがある
 - ・違う部門の人との付き合い
 - ・話を聞きたい人との飲むチャンスがあったら、何を犠牲にしても行くべし
 - ・コミュニケーションは、顔を見て話す
 - ・「一期一会」



他人は自分との関係において3通り。どんなひともこの三つの側面を持っている

- ・師と仰ぐ人
- ・対等に話せる相談相手
- ・教えてあげなきゃならない門下生

5 リスキーなことは自分がやる

- ・こういうリスクを背負える人間のもとになるのは矜持、自信、自尊心
「自分は大したものなんだ、その自分が逃げたりしちゃいけない、人よりきつい仕事をやるのは当然だ」
- ・出る杭は打たれる、出ない杭は無視される

6 無難に、大過なくはダメ

7 (1) VSOP…20代:vitality 30代:speciality

40代:originality 50代:personality 最後は人間力

(2) 組には属さない

(3) 会社を辞めたくになったら→会社全部がそんなに悪い訳じゃない

8 中野信子著[化学がつきとめた「運のいい人」]



講義は、長い職業生活を通して講師が御自分の経験を通して生み出された、企業人として生きるエッセンスであり、人生の哲学であると感じられた。これから社会に出て戦っていくに当たり、このレジュメを座右において指針とすることのできる本日の受講生は幸せである。